

履歴書記載要領（兼任講師以外）

立 教 大 学

I 年号の表記

西暦で記載して下さい。

II 氏 名

1. 学内で使用予定の氏名を記載して下さい。

※戸籍上氏名の記載は不要です。学内で使用予定の氏名（旧姓・通称等）と戸籍上氏名が異なる場合は、入職時に別途「旧姓等使用届」の提出が必要となります。

2. 人事システムへの登録に使用しますので英字表記を「英字」欄にご記入ください。

III 学 歴 ・ 免 許

高等学校卒業から記載して下さい。なお、大学院博士課程に在学した場合は、

①修了、②単位取得退学、③中途退学の種別と年月日を記載して下さい。

職務上必要又は有用な資格、免許、試験について、取得年月日とともに記載して下さい。

IV 学 位

修士以上の取得学位名を、大学名・専攻名を含めて正確に記載して下さい。

《記載例》

年	月	日	学 位
2000	3	31	〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻〇〇課程 修士（■■学）
2010	9	30	〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻〇〇課程 博士（■■学）

V 職 歴

1. 現在専任として勤務する大学・研究所等に関しては、所属する部局と職名を明示して下さい。

（例：〇〇大学 ○学部 ○学科 教授）

2. 専任職については、現職以前の所属研究機関・身分を最初から記載して下さい。

3. 非常勤講師の勤務に関しては、専任職についていない期間の分に限定しても差し支えありません。なお、その勤務期間も明示して下さい。また、立教大学での非常勤講師履歴は必ず記載して下さい。

4. 当該職歴のうち海外における教育活動・研究活動の期間がある場合は、必ずその期間および活動内容について記載するとともに、「海外での教育研究歴」欄に「○」印をご記入ください。

《記載例》

年	月	日	職 歴	海外での 教育研究歴
****	**	**	*****	
2010	4	1	▲×大学□□学部 着任（現在に至る）	
2011	10	1	長期海外研究によりドイツ滞在（2012年9月30日まで）	○

VI 賞 罰

公的機関・学会・出版社等からの表彰、職務上の懲戒処分、研究費の不正受給に係る処分等について記載して下さい。

VII 学会及び社会における活動

【学会における活動】

1. 現在、所属している学会及び過去に所属していた学会の名称を、加入した年月順に記載してください。
2. 学会において役員等を務めている場合又は過去に勤めていた場合には、その職名を（ ）内に記載してください。退会の場合には、その年月も記入してください。所属学会名は、正確に記載してください（日本○○○学会、西日本○○○学会等）。
3. 学会等の第○回大会などの開催地における一時的な役職は記載しないでください。

【社会における活動】

1. 本人の専攻、研究分野等に関連した事項について、全国的又は都道府県における活動及び学会に準じる程度の水準や規模における活動について記載してください。
2. 社会における活動の実績について、内容を簡潔に記述してください

《記載例》

年	月	日	学会及び社会における活動
			学会における活動
1995	4	1	△△学会会員（2005年8月31日まで）
2010	9	1	××学会会員（2020年4月1日から理事 現在に至る）
			社会における活動
2020	4	1	□□県□□会議副座長（現在に至る）
2022	9	1	○○省○○委員会委員（2024年8月31日まで）

VIII 著書及び学術論文等目録

1. 著書（定期刊行物以外で表紙に本人の氏名が記載されている刊行物）と、論文等を分けて記載して下さい。なお、学位論文には論文名の左に○印をつけて下さい。
2. 発行所・発表雑誌（及び巻・号数）等または発行学会等の名称に関しては、省略せず正確に記載して下さい。
3. 著書で共著等の場合、なるべく担当頁を記載して下さい。
4. 両面で5枚以内に収まるよう調整して下さい。

IX その他

本提出書類に記入いただいた個人情報は、大学の業務上または緊急連絡の必要な際に使用いたします。